

石州和紙会館新聞

2024.9 第 89 号

廊下の企画展

音羽さん
米寿(88歳)
おめでとうございます

「米寿記念 音羽キミ 石州和紙にかいた水墨画展」

浜田市三隅町出身の日本画家、石本正(しょう)(1920～2015)の自由な画風に感銘を受け、70歳から日本画を始めた音羽キミさん(山口県周南市在住)。石正美術館の日本画講座を受講し、生前の石本の「絵は自由に描いていいんだ」という言葉に感銘を受け、石州和紙(半紙)や和紙をすく職人たちと出会い、石州和紙が持つ独特な風合いに魅力を感じ、貼り絵や版画など様々な表現方法を試しながら創作をされてきました。和紙会館でこれまで何度も作品展示をされて来られ、今回は4年ぶりの石州和紙会館での展示になります。米寿記念のため開催するこの展示の為に制作された水墨画の作品を期間中には作品の展示変えを挟んで展示します。

2024

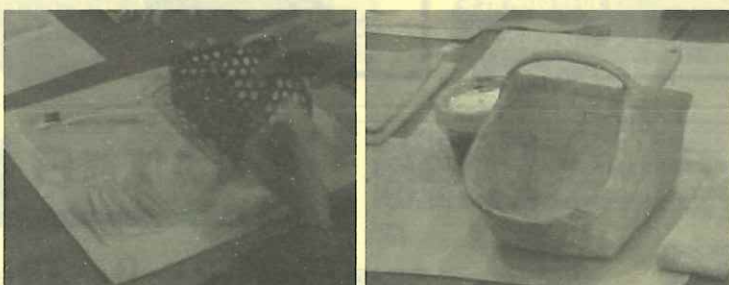
9.6 [金] ▶ 10.27 [日]



『柿渋パンかご作り』開催!

大人気ワークショップを再び!

2023年11月に島根県が観光地「宮島」の玄関口「宮島口」を会場とし、島根応援サイト「もっとリメンバーしまね」の特別企画として行った特別な一閑張りのワークショップを再び開催します。竹で編まれたかごに石州和紙を貼り、自分だけのオリジナルのパンかごをつくります。柿渋と刷毛をお持ち帰りいただき、糊が乾いた後、ご自宅で柿渋を塗って完成させます。



2023年11月のワークショップの様子

柿渋パンかご作り

2024

日時

10.19 [土]
13:30-15:30

参加料

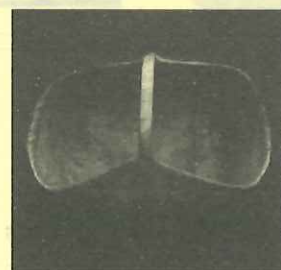
3,500 円

定員

5 名

参加締切

10.12 [土] (先着順)



どんなインテリアにも
似合うとても丈夫な
かごが出来上がります

ユネスコ無形文化遺産登録10周年事業

石州紙まつり

開催報告

8/10^土 9:30-16:00
(開式行事9:30-)
8/11^日 10:00-16:00



ユネスコ無形文化遺産登録から10年目の節目を迎えて

「和紙：手漉和紙技術」として、ユネスコ無形文化遺産に登録されて10年という節目を迎え、この石州紙まつりを開催することになりました。長い長い1300年以上も続いている石州和紙の歴史の中では短い10年だったかもしれませんが、後世に繋げていくために必要な10年となったのは間違いありません。この石州紙まつりで、多くの方に石州和紙と触れ合える時間を提供できましたことを大変嬉しく思います。和紙関係者一丸となって、石州紙まつりが盛況に開催できましたこと、感謝いたします。伝統を絶やさぬよう、これからもみんなで石州和紙を守っていききたいと思います。

古式手漉き和紙体験



暑期中多くの方が
順番待ちして体験

石州半紙 紙漉き工程実演



「六通六返し」
という叩解方法も
体験

和紙製品の展示、販売



多くの方が
多くの和紙を
購入

石州半紙 歴史展示



貴重な写真や
古い和紙を
数多く展示

つばめちゃん うちわてアート!



天然絵の具で
素敵な作品が
完成

石見神楽上演



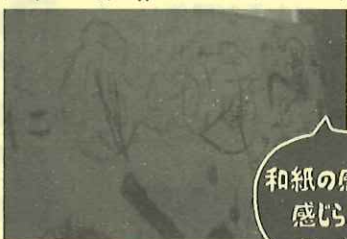
迫力ある
上演が多くの
観客を魅了

展示



会場に
様々な和紙の
作品を展示

和紙に落書きアートボード



和紙の感触を
感じられる
コーナー

飲食コーナー



いろいろな
飲食店さん
ありがとう

発行 / 石州和紙会館

〒699-3225 島根県浜田市三隅町古市場 589

tel/fax 0855-32-4170

開館時間 9:00-17:00・入館料 無料

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始

washisekishu@iwamicatv.jp <https://sekishu-washikaikan.com>

公益財団法人
浜田市教育文化振興事業団
HARADA
EDUCATION AND CULTURE FOUNDATION



homepage



9月の休館日

月曜日 2日・9日・30日

火曜日 17日・24日